

中山間地における‘コシヒカリ’ーレタスの作付体系

松尾良満・豆田和浩・*下村忠夫・**田中龍臣・**松尾孝則
(佐賀県農業試験場三瀬分場・*佐賀県農業大学校・**佐賀県農業試験場)

Yoshimitsu MATSUO, Kazuhiro MAMEDA, Tadao SHIMOMURA, Tatsuomi TANAKA and Takanori MATSUO :
Cropping Systems with rice, KOSHIHIKARI' and Lettuce in Mountainous Area

佐賀北部中山間地域 (標高300m~600m) では、夏季の冷涼な気候を活かしたレタス等の産地が形成されているが、連作による生育障害や病害の発生がみられる。

そこで良質米で極早生水稻の‘コシヒカリ’とレタスを組合せた作付体系を確立し、レタスの連作障害回避と水田の高度利用をはかる。

1. 材料及び方法

1984年~'88年の5か年間試験を行い、①春作レタスー遅植え‘コシヒカリ’の体系、②早植え‘コシヒカリ’ー秋作レタスの体系について検討した。当地域の‘コシヒカリ’の遅植え限界は6月20日ころ、レタスの遅植え限界が9月20日ころであることから、春作レタスは6月上旬まで、早植え‘コシヒカリ’は9月上旬までに収穫する必要がある (水稻は山間稲作研究室の協力を得た)。

これらの条件を満たす作付体系を考え、第1表のような品種、定植期、移植期で栽培した。春作レタスは3月19日は種、‘コシヒカリ’は5月11日は種、早植え‘コシヒカリ’は、毎年5月1日移植、秋作レタスは、1984年8月10日、'86年8月27日、'88年8月30日には種し、‘コシヒカリ’は、窒素施肥量 (0Kg~8Kg/10a成分) の検討も行い、秋作レタスは当地域の慣行法で栽培したが、1984

年、'86年は11月上旬、'88年は12月1日から防寒のトンネル又はべたがけ被覆を行った。

2. 結果及び考察

①春作レタスー遅植え‘コシヒカリ’の作付体系

春作レタスは、収穫時期が6月13日、球重500g、収量3.7t/10aであったが、連作区に対し生育収量がやや劣っていた。水稻跡地は、耕起時の土塊が大きく、物理性・化学性が劣るために活着~初期生育がやや悪かったのが原因と思われる。後作の‘コシヒカリ’は、9月末の収穫となり、レタスの残肥の影響は小さく、窒素は6Kg/10a成分量、元肥割合50%の施肥体系が収量が多く安定していた (第1表)。

②早植え‘コシヒカリ’ー秋作レタスの作付体系

3月末~4月初めは種の‘コシヒカリ’は、8月初めの出穂、9月上旬の成熟期となり、窒素施肥量は7Kg/10a成分量、元肥割合70%程度が適当であった。秋作レタスは、第1表のように10月の定植では収量が少なく寒害を受けやすいので、9月20日までに定植する必要があり、定植が遅れた場合は10月下旬からべたかけ、11月上旬からはトンネル栽培を行う。水稻跡地の排水や乾田化に注意すれば、第1図のような輪作体系ができる。

第1表 コシヒカリーレタスの作付体系におけるそれぞれの生育・収量

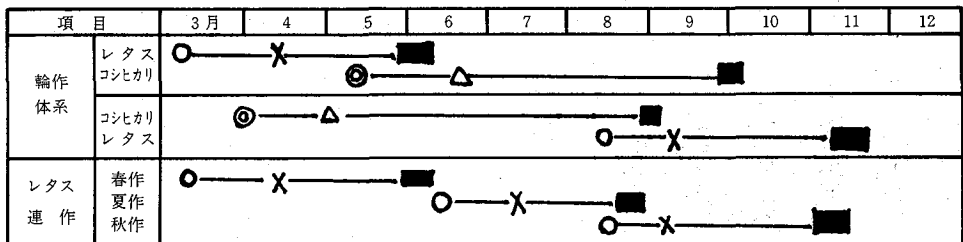
①春作レタスー遅植えコシヒカリの体系

年次	春作レタス (北山3号)										コシヒカリ		
	定植日	収穫日	地上部重	外葉数	球重	異常球率	病害球率	商品収量	総収量	移植期	成熟期	玄米重	
	月 日	月 日	g	枚	g	%	%	Kg/a	Kg/a	月 日	月 日	Kg/a	
1984	4・23	6・13	739.8	11.2	536.3	36.5	1.6	249.3	376.8	6・20	9・29	53.3	
	(4・23)	(6・6)	(933.5)	(9.6)	(694.0)	(26.7)	(2.5)	(354.1)	(483.1)				

②早植えコシヒカリー秋作レタスの体系

年次	コシヒカリ		レタス (オリンピック, ニューオリンピック)									
	成熟期	玄米重	定植日	収穫日	地上部重	外葉数	球重	異常球率	病害球率	寒害球率	商品収量	総収量
	月 日	Kg/a	月 日	月 日	g	枚	g	%	%	%	Kg/a	Kg/a
1984	8・29	58.8	9・17	11・22	901.8	12.0	644.7	10.0	0	-	413.8	459.8
			(9・7)	(10・29)	(837.1)	(14.8)	(455.0)	(0)	(1.3)	-	(320.7)	320.7
1886	9・4	49.7	10・1	12・24	801.5	7.6	521.0	0	12.5	-35.0	195.3	-
1988	9・7	49.5	10・4	1・31	704.1	13.3	498.2	36.9	21.0	3.2	111.2	-
			(9・19)	(11・16)	(910.4)	(7.0)	(667.4)	(-----)	(18.1)	(-----)	(397.4)	-

注) () はレタス連作区的成绩



第1図 コシヒカリーレタスの作付体系 (輪作体系) と慣行の連作体系

注) レタス: ○は種, ×定植, ■収穫 コシヒカリ: ◎は種, △移植, ■刈取り